

【医薬品名】塩酸クロミプラミン（注射剤）

【措置内容】以下のように使用上の注意を改めること。

[禁忌]の項に

「QT延長症候群のある患者」

を追記し、[副作用]の「重大な副作用」の項に

「セロトニン症候群：不安、焦燥、せん妄、興奮、発熱、発汗、頻脈、振戦、ミオクロヌス、反射亢進、下痢等を主症状とするセロトニン症候群があらわれることがあるので、これらの症状が出現した場合には投与を中止し、水分補給等の全身管理とともに適切な処置を行うこと。」

を追記する。

参考 企業報告